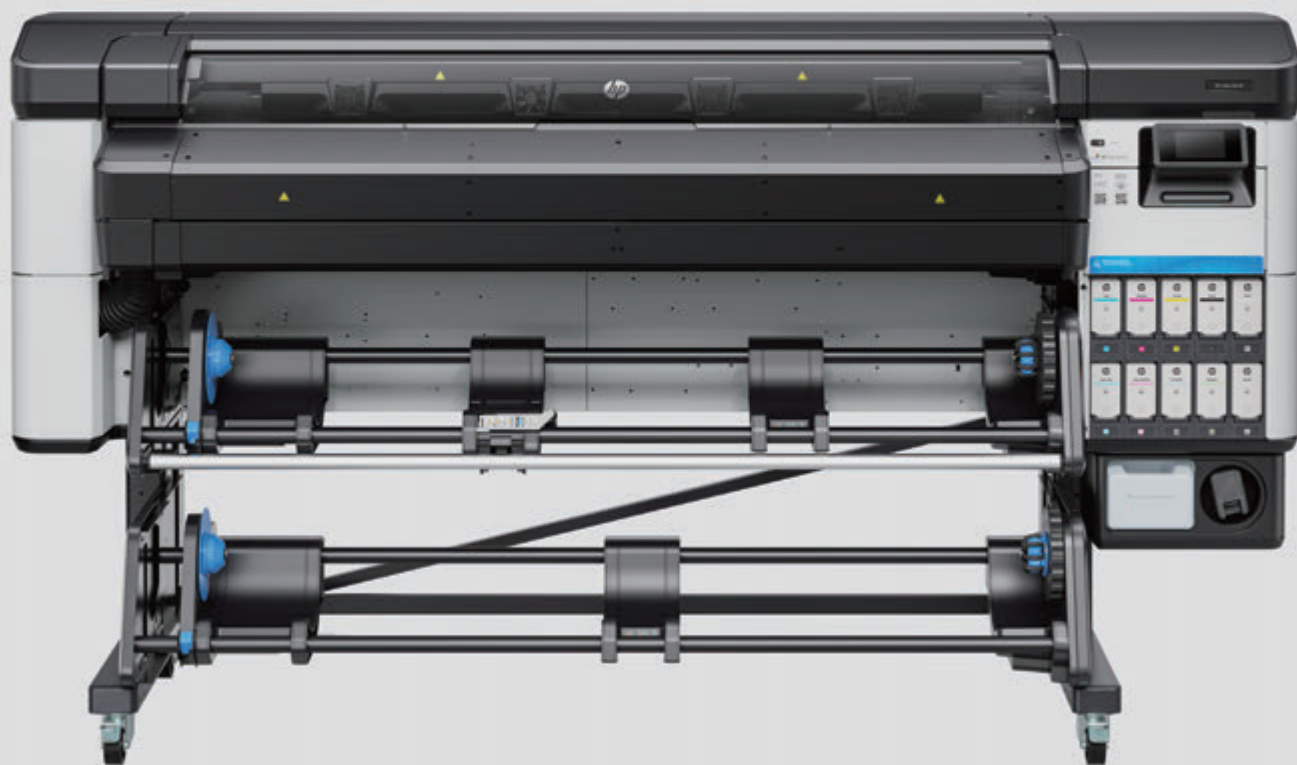


今こそ卓越した大判印刷を 実現するときはです

HP Latex 630プリンターシリーズ

最新のテクノロジーでイノベーションを創出



HP Latex 630プリンターシリーズにアップグレードするメリット

広がる可能性

最高のホワイトインク体験¹でサービスレベルをアップ

効率化

自動メンテナンス、前面ロール給紙、手間のかからない再印刷とモニタリング機能で、ジョブをより速く、より簡単に

さらにその先へ

ULECOLOGO^{®3}やPEPEAT^{®4}などの環境認証²で一步先を進む

アップグレードが必要な理由



シームレスにメディアをセット
スピンドルレスシステムと強化された
自動スキュー補正のアルゴリズムにより、
メディアのセットを迅速かつ簡単に行えます。



最高のホワイトインク体験¹
使いやすいホワイトインクプリンター²で、
より多くの仕事を簡単にこなせます。
使い方もメンテナンスもシンプルな
HP Latexホワイトインクが、
ビジネスニーズに応えます。



先進的なプリントヘッド
テクノロジーで小さな文字
もくっきりと⁵
非円形ノズルを採用した新たな
プリントヘッドにより、小さな文字や
バーコードも安定して鮮明に印刷できます。



圧倒的な画像品質
なめらかなグラデーションとシャープな
詳細表現。HP Pixel Controlと第4世代インクが
卓越した印刷品質をお届けします。



プラスチック使用率の削減
ラベルレスの紙ベースのカートリッジは、
HP プラネットパートナーズプログラム⁶で簡単に
リサイクルできます。



フロントパネルでジョブキューから
すばやく再印刷
内部プリンターメモリに最大10 GBのジョブを
保存できます。



高い汎用性
硬化温度が低く乾燥システムを備えているため、
感熱素材にも対応できます。



プリンターの概要

	
HP Latex 630	HP Latex 630 W
基本的な特長：	基本的な特長：
最大メディア幅163 mm	最大メディア幅163 mm
1リットルインクカートリッジ	1リットルインクカートリッジ
ホワイトインクなし	ホワイトインク
最大ロール重量42 kg	最大ロール重量42 kg
標準品質の速度14 m ² /時 サービスレベルをアップ標準 (6パス) ⁵	標準品質の速度14 m ² /時 サービスレベルをアップ標準 (6パス) ⁵

1. HP Latex 832インクミックスカートリッジとHP 832ホワイトLatexインクカートリッジ間での自動インク再循環システムによる透過的なインクメンテナンスでホワイトインクが常に循環し、沈殿しないため、ホワイトインクが使いやすい、卓越した印刷ができるようになります。ホワイトインクで印刷しないときは、ホワイトプリントヘッドを簡単に取り外して、オフライン回転式チャンパーに保管できます。これにより、ホワイトインクの無駄がなくなり、高濃度のホワイトインクの化学作用によりホワイトプリントヘッドが目詰まりすることがなくなります。すべてのホワイトプリントモードは、異なるホワイトインク濃度で利用できるため、さまざまな不透明度 (スポット、アンダーフラッド、オーバーフラッド、最大260% ホワイトインク濃度での3層) をカバーします。2. 公開情報を用いた社内競合分析に基づきます。HP Latexテクノロジーと、溶剤とUVインクを使用する競合他社製の他の大判プリント用テクノロジーとを比較した場合に該当します。詳細については、個別製品のデータシート (hp.com/go/latex) をご覧ください。3. UL ECOLOGO[®] 認証を取得したHP Latex 832インクは、人間の健康や環境への配慮に関する厳格な基準を満たしています。認証については、<http://www.ul.com/EL>および<http://www.ul.com/gg>をご覧ください。4. 一部のHP Latexプリンターに該当します。該当する場合またはサポートされている場合はEPEAT登録がされています。国別登録状況については、epeat.netをご覧ください。5. 標準モード (ジェネリックSAVカレンダー) 6パス、6色、110%インク濃度。MACTAC JT 8500 WG-PGでのHP内部テストに基づいています。イメージ品質不良を防ぐアダプティブ印刷メカニズムを採用しているため、印刷速度は変動します。6. HP Planet Partners回収プログラムへの参加方法については、hp.com/recycleをご覧ください。プログラムは国や地域によって利用できない場合があります。このプログラムが利用できない場合、およびこのプログラムに含まれないその他の消耗品については、国や地域の廃棄物処理当局に適切な処分方法を問い合わせてください。